

浜の活力再生プラン
(第2期)

1 地域水産業再生委員会 浜プラン ID: 1102016

組織名	むつ市大畑地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 田高利美

再生委員会の 構成員	大畑町漁業協同組合、中型イカ釣り漁業者、小型イカ釣り漁業者、小型定置網漁業者、むつ市大畑庁舎市民生活課、青森県下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所
オブザーバー	-

対象となる地域の範囲 及び漁業の種類	<p>地 域： 青森県むつ市大畑地区</p> <p>漁業の種類： 中型イカ釣り漁船漁業：8 経営体</p> <p>小型イカ釣り漁船漁業：65 経営体</p> <p>小型定置網漁業(外海養殖業兼業)：3 経営体</p>
-----------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

当地区は、三方を海に囲まれた下北半島にあって、津軽海峡に面した北辺に位置し、イカ釣り漁業、小型定置網漁業、底建網漁業などが主体的に営まれている。

中型イカ釣り及び小型イカ釣り漁業は、近年、海況の変化に起因すると思われるスルメイカ漁の不振が著しく、漁獲量が急激に減少している。また、そのことにより漁場探査の時間や距離が延び、燃油料が増加するという悪循環に陥っている。加えて、厳しい就労環境による漁業就業者の不足から、船員や後継者の確保が困難となっており、就業者確保への取組が必要となっているなど、当地域のイカ釣り漁業を取り巻く環境はより一層厳しさを増している。かつて全国有数の水揚げを誇り、地域経済を根底から支えてきたスルメイカ漁の不振は、地域全体の低迷にも繋がっている。

小型定置網漁業、底建網漁業では、前述の海水温や潮流の影響から、操業が安定せず、網の調整や修繕の頻度も著しく増加し、燃油経費や修繕費の増大が経営を圧迫している。

(2) その他の関連する現状等

当地域は漁業への依存度が高く、特にスルメイカの漁獲が多かったことから、かつてはスルメイカを原料とする水産加工会社が多く集積し、一次加工品の全国シェアが50%以上を占めていた。しかし、輸入品の増大や消費者ニーズの多様化に伴い、現在ではその多くが破綻し、生産額は最盛期の1/10程度にまで落ち込んでおり、それに付随する船舶整備関連産業や飲食業も、地元漁船漁業者の減少と入港する外来船の減少により衰退している。

一方で、イカに特化した漁業からの転換を図るために、20年以上前から取り組んでいるドナルドソン系ニジマスの海中養殖による「海峡サーモン」は、ブランド化が成功し、作り育てる漁業の先駆けとして高く評価されている。

また、平成30年度には、衛生管理型の水産物流通荷捌場・海水処理施設等（新大畑町魚市場）が完成し、運営が開始された一方で、老朽化が著しい大畑町漁協さけますふ化場の新設計画は、費用工面の見通しが立たないため停滞している。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

<p>地域の基幹産業である漁業を維持していくため、大畑地区の主力である中型イカ釣り及び小型イカ釣り漁業並びに小型定置網漁業の振興を図るとともに、効率的で安定的な漁業経営が行われるよう、次の活動に取組み地域の活性化を図る。</p> <p>○衛生管理型水産物流通荷捌施設、海水処理施設等を十分に活用する等、漁獲物の高付加価値化 (中型イカ釣り漁業、小型イカ釣り漁業、小型定置網漁業)</p> <p>○水産資源の増殖と適正な管理・保護の促進による持続可能な漁業の構築 (小型定置網漁業)</p> <p>○魚食文化の伝承と普及を通じた販売促進活動の促進による漁業収入の向上 (中型イカ釣り漁業、小型イカ釣り漁業、小型定置網漁業)</p> <p>○漁業用燃料経費の削減による漁業経営の効率化・安定化 (中型イカ釣り漁業、小型イカ釣り漁業、小型定置網漁業)</p>
--

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

<p>漁業協同組合の共同漁業権行使規則及び行使計画により、漁業期間、漁業の方法、漁獲サイズ等を制限しているほか、県資源管理指針に基づく資源管理計画を策定し、休漁日を設定するなど資源保護に努めている。</p>

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度）

以降、以下の取組内容は、取組の進捗状況や得られた知見等を踏まえ、必要に応じて、見直すこととする。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○ 以下の収入向上の取組により、基準年に対し10.1%の所得向上を図る。</p> <p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型イカ釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結から IQF（一尾凍結 Individual Quick Frozen）への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲物の迅速な箱詰め（迅速な施氷作業と出荷時期に応じた施氷量の調整による低温管理（5℃以下）を含む）による鮮度保持の徹底と、溶けた氷水がスルメイカに触れることで起こる白化を防ぐため、魚箱にシートを被せ保冷性を高める取組をさらに進める。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマスの上活の割合を増大し、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進（小型定置網漁業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然ホヤから人工採苗を行い、延縄垂下方式によるホヤ養殖を実施する。 ・サケ稚魚の海中飼育尾数を増やし、サケ資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1 省燃油に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地水産業強化支援事業 ・省燃油活動推進事業 ・水産多面的機能発揮対策事業 ・被災海域種苗放流支援事業

2年目（平成32年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○ 以下の収入向上の取組により、基準年に対し10.1%の所得向上を図る。</p> <p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型イカ釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結から IQF（一尾凍結 Individual Quick Frozen）への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲物の迅速な箱詰め（迅速な施氷作業と出荷時期に応じた施氷量の調整による低温管理（5℃以下）を含む）による鮮度保持の徹底と、溶けた氷水がスルメイカに触れることで起こる白化を防ぐため、魚箱にシートを被せ保冷性を高める取組をさらに進める。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマス船上活めの割合を増大し、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進（小型定置網漁業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然ホヤから人工採苗を行い、延縄垂下方式によるホヤ養殖を実施する。 ・サケ稚魚の海中飼育尾数を増やし、サケ資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1 省燃油に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地水産業強化支援事業 ・省燃油活動推進事業 ・水産多面的機能発揮対策事業 ・被災海域種苗放流支援事業

3年目（平成33年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○ 以下の収入向上の取組により、基準年に対し10.1%の所得向上を図る。</p> <p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型イカ釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結から IQF（一尾凍結 Individual Quick Frozen）への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲物の迅速な箱詰め（迅速な施氷作業と出荷時期に応じた施氷量の調整による低温管理（5℃以下）を含む）による鮮度保持の徹底と、溶けた氷水がスルメイカに触れることで起こる白化を防ぐため、魚箱にシートを被せ保冷性を高める取組をさらに進める。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマス船上活〆の割合を増大し、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進（小型定置網漁業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然ホヤから人工採苗を行い、延縄垂下方式によるホヤ養殖を実施する。 ・サケ稚魚の海中飼育尾数を増やし、サケ資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1 省燃油に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地水産業強化支援事業 ・省燃油活動推進事業 ・水産多面的機能発揮対策事業 ・被災海域種苗放流支援事業

4年目（平成34年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○ 以下の収入向上の取組により、基準年に対し10.1%の所得向上を図る。</p> <p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型イカ釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結から IQF（一尾凍結 Individual Quick Frozen）への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲物の迅速な箱詰め（迅速な施氷作業と出荷時期に応じた施氷量の調整による低温管理（5℃以下）を含む）による鮮度保持の徹底と、溶けた氷水がスルメイカに触れることで起こる白化を防ぐため、魚箱にシートを被せ保冷性を高める取組をさらに進める。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマス船上活〆の割合を増大し、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進（小型定置網漁業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然ホヤから人工採苗を行い、延縄垂下方式によるホヤ養殖を実施する。 ・サケ稚魚の海中飼育尾数を増やし、サケ資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1 省燃油に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減による所得向上を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地水産業強化支援事業 ・省燃油活動推進事業 ・水産多面的機能発揮対策事業 ・被災海域種苗放流支援事業

5年目（平成35年度）

取組の最終年度であり、前年度に引続き行いが、目標達成が確実なものとなるよう、プランの取組状況を確認しつつ、必要に応じて施策の見直しを行う。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○ 以下の収入向上の取組により、基準年に対し10.1%の所得向上を図る。</p> <p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型イカ釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結から IQF（一尾凍結 Individual Quick Frozen）への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲物の迅速な箱詰め（迅速な施氷作業と出荷時期に応じた施氷量の調整による低温管理（5℃以下）を含む）による鮮度保持の徹底と、溶けた氷水がスルメイカに触れることで起こる白化を防ぐため、魚箱にシートを被せ保冷性を高める取組をさらに進める。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマス船上活めの割合を増大し、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進（小型定置網漁業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然ホヤから人工採苗を行い、延縄垂下方式によるホヤ養殖を実施する。 ・サケ稚魚の海中飼育尾数を増やし、サケ資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1 省燃油に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減による所得向上を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地水産業強化支援事業 ・省燃油活動推進事業 ・水産多面的機能発揮対策事業 ・被災海域種苗放流支援事業

(5) 関係機関との連携

青森県（農林水産部水産局水産振興課、漁港漁場整備課やむつ水産事務所）、地方独立行政法人青森県産業技術センター（水産総合研究所、内水面研究所）と連携する。また、問題点については原因を調査し、解決に向けた課題整理を行う。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 27 年度～平成 29 年度（3 漁業種平均） ： 漁業所得
	目標年	平成 35 年度 ： 漁業所得

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

別添資料参照

(3) 所得目標以外の成果目標

サクラムスの船上活け 出荷の割合	基準年	平成 27 年度～平成 29 年度（小型定置網平均）： 1.7%
	目標年	平成 35 年度 ： 14.2%

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

算定根拠資料参照

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
省燃油活動 推進事業	消費燃料の削減（漁船舶底洗浄及び減速航行）
産地水産業 強化支援事 業	水産物流通荷捌き施設・海水処理施設整備及び衛生管理・鮮度管理講習会・効率的な流通体制確立のための調査等
産地水産業 強化支援事 業 水産多面的 機能発揮対 策事業	水産物流通荷捌き施設・海水処理施設整備及び衛生管理・鮮度管理講習会・効率的な流通体制確立のための調査等 魚食文化の伝承と普及
水産多面的 機能発揮対 策事業 被災海域種 苗放流支援 事業	魚食文化の伝承と普及 水産資源の増殖と適正な管理・保護の推進